



幼保再編だより

平成28年8月18日発行

【第4回】

編集・発行
土庄町教育委員会事務局
教育総務課

土庄町では将来の子どもたちの充実した保育環境を整備するため、現在、幼稚園・保育所の再編について土庄町第2次幼保再編協議会を立ち上げ、協議をしています。この幼保再編だよりは、その協議内容や経過を適切に保護者の皆さんにお知らせするため作成したものです。

(1) 8月17日に行われた施設再編部会の協議内容について 建設候補地の内容審査について

内容審査については、前回の3案に中央病院跡地及び中央グラウンドを加え審査を行いました。



こども園候補地の比較

候補地	園児の安心安全	園、保護者の利便性	財政的優位性	関係者の理解	備考
湊崎小学校跡地	急傾斜地崩壊危険箇所に含まれるためRC造なら建築は可能。 ×	県道に面し、駐車場等も十分取れる。敷地面積11,736㎡ ○	解体費用が必要。 △	跡地協議会はあるが、こども園に利用できるかどうかは未定。 △	①こども園建設には、敷地面積が約7,000㎡ほど必要です。 ②災害時に自分で避難できない子どものためにも急傾斜等の危険区域は避けるべきと考えます。 ③子ども園建設には、町の他の施設も考慮した町づくりの視点が求められています。
旧土庄小学校跡地	傾斜地に建設することとなり、平屋は難しい。 △	駐車場用地及び進入路については工夫が必要。敷地面積8,640㎡ △	解体費用が必要。 △	跡地協議会よりこども園誘致の要望有り。 ◎	
東洋紡績跡地	平地であり平屋園舎が可能である。 ◎	広い道に面し、駐車場も確保できるが土地が不整形である。敷地面積8,377㎡ △	解体費用はないが、ボーリング調査が必要。 △	町の中心部にあるので、町としては町づくりの拠点として他の用途を考えている。 ×	
中央病院跡地	平屋園舎は可能であるが、駐車場や園庭の確保が難しい。 △	広い道に面し、駐車場も確保でき利便性が高い。敷地面積8,945㎡ ○	建物すべてを解体した場合、費用が大きい。 ×	診療所の代替施設が必要。他の施設の候補地となる可能性がある。 ×	
中央グラウンド	面積が不足しているため平屋は難しい。 △	進入路が狭いうえ、駐車場の確保が難しい。敷地面積6,390㎡ ×	ボーリング調査を含め、埋立、造成等の工事が不要 ○	中央グラウンドの代替施設が必要 ×	



《委員の意見》

問 旧湊崎小学校跡地の急傾斜崩壊危険箇所に擁壁は出来ないのか。

答 費用と時間がかかると思いますが、次回までに調査します。

問 どの候補地も防災上の避難所はどこを考えているのか。

答 旧土庄小学校及び中央グラウンドに建設した場合は、旧土庄小学校体育館に避難できますが、それ以外の候補地については、今後検討が必要です。

問 中央病院跡地は、道も広く園児の送迎には適している。候補地としては最適ではないか。

答 建物を全部取り壊すとなると現在診療所があるので、移転が必要になります。

問 旧土庄小学校跡地は進入路が取れるのか。

答 中央公民館横から一方通行で入る方法を考えていますが、再度調査します。

事務局 現在町内には、小学校跡地を中心として多くの跡地があり、今後町が整備しなければならない施設もこども園だけではありません。よって、他の施設の兼ね合いも考えながら、建設可能な場所を考えただけだと思います。

